大垣消防組合　消防統計２０２３

令和５年版

大垣消防組合
Ogaki Fire Department

消防統計2023　目次

1　今年の災害 …… 1～2

令和5年消防統計概要

2　火災統計 …… 3～4

出火原因別火災件数　3

月別火災件数・焼損床面積　4

建物火災用途別件数　4

出火原因の推移　4

3　救急統計 …… 5～6

救急事故種別　5

傷病程度別搬送人員　6

年齢別搬送人員　6

10年間の救急出動件数　6

4　救助統計 …… 7

5　その他の緊急出動 …… 7

1　今年の災害

令和５年消防統計概要

令和５年における大垣消防組合管内１市４町《大垣市(上石津地域を除く。)・神戸町・輪之内町・安八町・池田町　人口約 22 万人》の火災・救急・救助などの状況をまとめました。

◆　火災統計から・・・

火災件数は８件の増加、建物火災は全火災の約 46%

火災件数は 71 件で、前年と比べ８件増加しました。

組合構成市町別では、大垣市が 44 件（8 件増加)、神戸町が 12 件(11 件増加)、輪之内町が８件(4 件増加)、安八町が４件(10 件減少)、池田町が３件(5 件減少)となっています。

火災種別では、建物火災が 33 件（2 件増加)、林野火災が２件(1 件増加)、車両火災が５件（2 件減少)、船舶火災が１件（1 件増加）その他の火災が 30 件(6 件増加)でした。

建物火災のうち住宅(共同・併用住宅等含む。)からの出火件数は 16 件(増減なし)で、全建物火災件数の約 48%となっています。続いて工場からの出火が多く 13 件(6 件増加)発生しています。

なお、焼損棟数は 41 件（7 件減少）で、そのうち全焼棟数は６件（10 件減少）となっており、前年より大きく減少しています。

出火原因の１位は「たばこ」、２位は「火入れ(枯草焼き)」、３位は「電気機器」

出火原因別では「たばこ」が 13 件、「火入れ(枯草焼き)」が９件、「電気機器」が７件となっています。

「たばこ」による出火においては、住宅の軒下で喫煙し不始末により起きています。水入りの灰皿を使用するなど完全に火種が消えたことを確認してから捨てるようにしましょう。また、全国においても出火原因（令和４年確定値）の１位が「たばこ」です。喫煙習慣のある人は気を付けてください。

「火入れ（枯草焼き)」は、田畑で枯草の焼却から風にあおられて延焼拡大し、火災が発生しています。原則、野焼きは禁止です。

「電気機器」は、７件中３件がリチウムイオン電池からの出火によるものです。リチウムイオン電池はスマートフォンや家電製品など身近なものに使用されています。衝撃や熱に弱いため、スマートフォン等を落下させたりしないよう取扱いには気を付けましょう。また、充電器を間違えて使用したため過充電により出火する事案がありました。必ず、充電器は当該製品のものであることを確認して使用するようにしてください。

建物火災における出火原因の１位は、「電気機器」です。続いて、「電気配線」からの出火が多いです。電気配線は、使用状況や経年等により劣化しますので、タコ足配線などは避け定格消費電力内で電気を使用するようにしましょう。

火災による死者は２人、負傷者は１人

火災による死者は２人(2 人減少)で、負傷者は１人(10 人減少)発生しました。前年より大幅に減少しています。住宅での火災では、住宅用火災警報器が作動したことで、就寝中でも火災に気づくことができ、初期消火により被害を軽減できた事案が２件ありました。住宅用火災警報器が未設置の住宅は、必ず設置するようにしてください。

◆　救急統計から・・・

救急出動件数は 11,332 件、1 日あたり約 31 件出動

救急出動件数は 11,332 件で、前年と比べ 373 件増加しました。過去 10 年間の平均（9,999 件）より約 1,333 件多かったことになります。1 日平均出動件数は約 31 件です。

救急事故種別をみると、「急病」が 7,887 件（約 67.7%）で全出動件数の半数以上を占め、次いで「一般負傷」が 1,574 件（約 13.9%）、「交通事故」が 842 件（約 7.4%）となっています。

搬送人員は 10,709 人で、そのうち入院加療を必要としない「軽症」傷病者は 5,201 人（約 48.6%）となり、前年と比べ 1,193 人増加しています。今後も救急車の適正利用について考え、行動することを呼びかける広報を継続していきます。

◆　救助統計から・・・

救助出動件数は前年から8件減少の59件、交通事故が全体の約47%

救助出動件数は59件で、前年から8件減少となりました。

内訳をみると、「交通事故」による出動が28件で全体の約47%を占め、次いで「建物等による事故」、「その他の事故」の順になっています。「火災」による救助出動は前年2件から1件に減少し、「水難事故」は3件増加し7件でした。

◆　その他の緊急出動から・・・

火災・救急・救助出動以外の出動件数は、1,566 件で前年と比べ 117 件増加しました。そのうち「ＰＡ連携出動」が 1,356 件で全体の約 87%を占め、前年と比べ 127 件増加しています。ＰＡ連携出動以外においては、多い順に、「通報確認」、「焼却行為」、「危険性物質の流出、漏えい等」となりました。

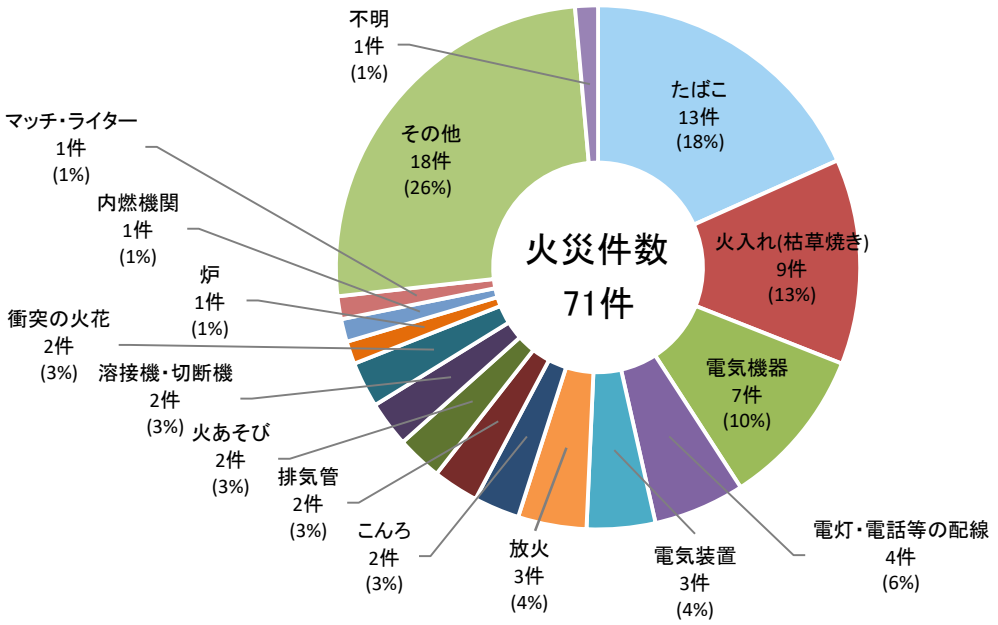
2 火 災 統 計

区分		令和5年 (A)	令和4年 (B)	増減数 (A)－(B)	令和5年市町別 大垣市	神戸町	輪之内町	安八町	池田町
火災件数（件）		71	63	8	44	12	8	4	3
火災種別	建物火災	33	31	2	19	6	4	2	2
	林野火災	2	1	1	－	1	－	－	1
	車両火災	5	7	△ 2	4	1	－	－	－
	船舶火災	1	0	1	1	－	－	－	－
	航空機火災	0	0	0	－	－	－	－	－
	その他の火災	30	24	6	20	4	4	2	－
焼損面積	床面積（㎡）	1,478	2,919	△ 1,441	793	599	67	1	18
	表面積（㎡）	47	50	△ 3	29	18	－	－	－
	林野（a）	4	19	△ 15	－	－	－	－	4
焼損棟数（棟）		41	48	△ 7	25	8	4	2	2
	全焼	6	16	△ 10	4	2	－	－	－
	半焼	4	1	3	2	2	－	－	－
	部分焼	11	12	△ 1	7	1	1	1	1
	ぼや	20	19	1	12	3	3	1	1
り災世帯（世帯）		19	28	△ 9	14	2	1	1	1
り災人員（人）		54	62	△ 8	46	3	1	1	3
損害額（千円）		239,307	270,495	△ 31,188	203,410	20,999	12,458	143	2,297
死者（人）		2	4	△ 2	1	1	－	－	－
負傷者（人）		1	11	△ 10	1	－	－	－	－
	うち30日死者	0	0	0	－	－	－	－	－

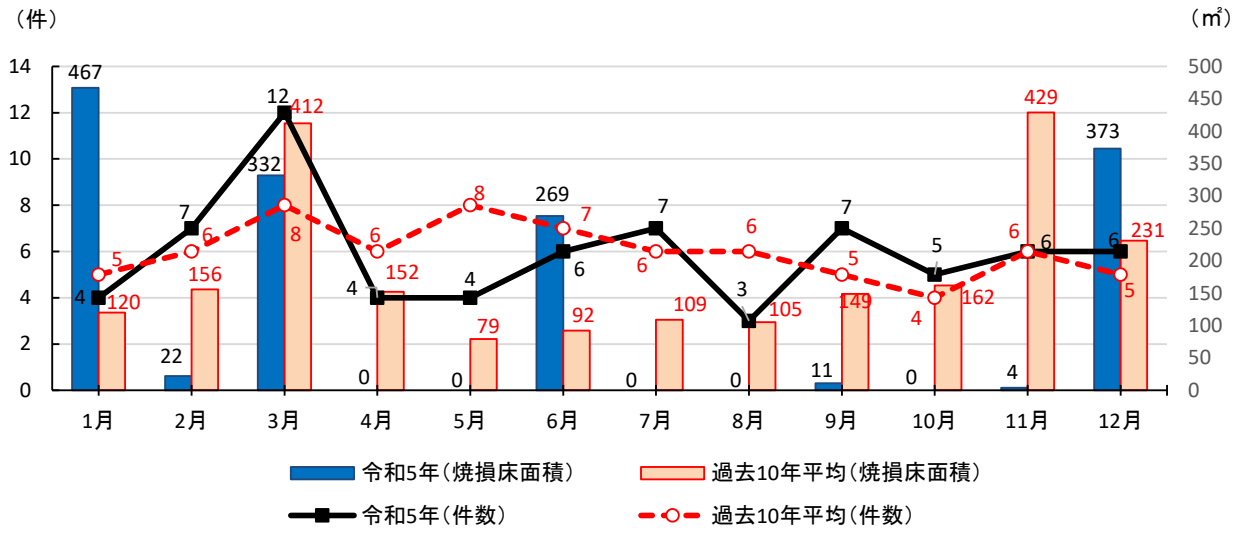
30日死者とは、火災により受傷後48時間を経過し、30日以内に死亡した者をいう。　（△は負数を表す）

１日平均火災件数…約 0.19 件（約5日に１件）
１日平均火災損害額…約 66 万円
火災１件あたりの平均損害額…約 337 万円
建物火災１件あたりの焼損床面積…約 44.8 ㎡

◆ 出火原因別火災件数



◆ 月別火災件数と焼損床面積



◆ 建物火災用途別件数

用　　途	住宅部分を含む用途			住宅部分を含まない用途			合　計
	専用住宅	共同住宅	併用住宅等	特定用途	工場等	その他	
件　数　（　件　）	14	1	1	3	13	1	33

特定用途とは、飲食店などの不特定多数の人が出入りする建物をいう。

※火災件数71件のうち、建物火災は33件

◆ 出火原因の推移

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
１位	放火（疑い含む。）17件	放火（疑い含む。）16件	放火（疑い含む。）こんろ 各7件	放火（疑い含む。）10件	放火（疑い含む。）火入れ（枯草焼き） 各8件	火入れ（枯草焼き）9件	火入れ（枯草焼き）9件	放火（疑い含む。）8件	たばこ 10件	たばこ 11件	たばこ 13件
２位	たばこ 11件	たばこ 火入れ（枯草焼き） 電灯・電話等の配線 各7件		電灯・電話等の配線 火入れ（枯草焼き） たばこ 各6件		放火（疑い含む。）7件	たばこ こんろ 各5件	火入れ（枯草焼き）4件	放火（疑い含む。）5件	電気機器 放火（疑い含む。） 各7件	火入れ（枯草焼き）9件
３位	電気装置 6件		火入れ（枯草焼き） 配線器具 各5件		たばこ 7件	たばこ 6件		たばこ 排気管 溶接機・切断機 各3件	火入れ（枯草焼き）5件		電気機器 7件
管内火災件数	81件	82件	83件	68件	78件	72件	56件	49件	66件	63件	71件

3 救 急 統 計

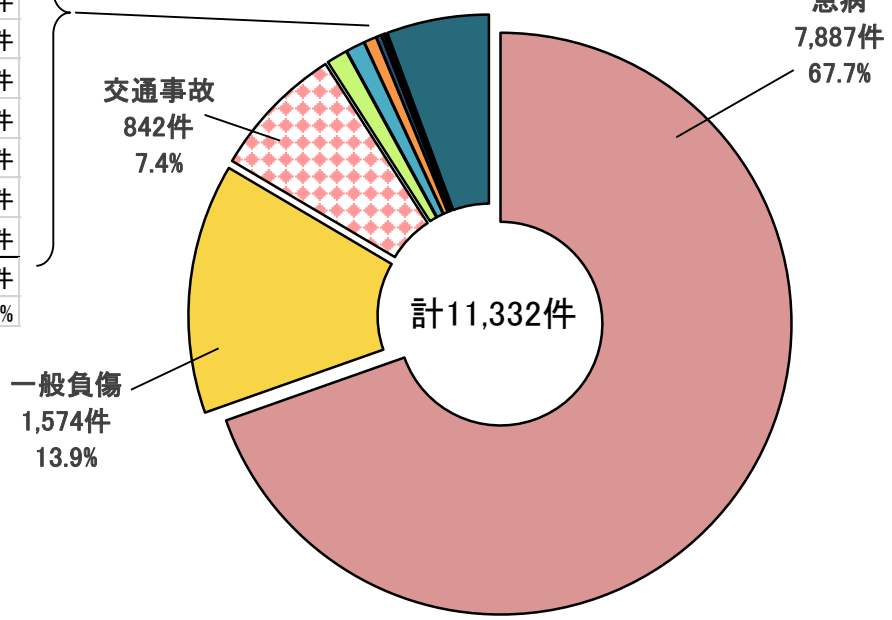
種別	区分（件数／人員）	令和5年 (A)	令和4年 (B)	増減数 (A)－(B) (C)	令和5年市町別 大垣市	神戸町	輪之内町	安八町	池田町	高速道路	管外
火災	出動件数	33	38	△ 5	18	6	5	1	2	1	－
	搬送人員	3	8	△ 5	2	0	0	0	0	1	－
自然災害	出動件数	0	0	0	－	－	－	－	－	－	－
	搬送人員	0	0	0	－	－	－	－	－	－	－
水難事故	出動件数	8	5	3	5	1	－	－	1	－	1
	搬送人員	2	2	0	0	1	－	－	0	－	1
交通事故	出動件数	842	809	33	583	70	44	63	75	5	2
	搬送人員	898	825	73	616	75	46	70	84	6	1
労働災害	出動件数	118	108	10	77	11	8	13	9	－	－
	搬送人員	117	106	11	76	11	8	13	9	－	－
運動競技	出動件数	131	122	9	102	15	5	3	6	－	－
	搬送人員	133	122	11	104	15	5	3	6	－	－
一般負傷	出動件数	1,574	1,526	48	1,163	133	49	78	150	1	－
	搬送人員	1,518	1,453	65	1,118	130	46	77	146	1	－
加害	出動件数	18	20	△ 2	11	1	－	2	3	1	－
	搬送人員	16	20	△ 4	10	1	－	2	2	1	－
自損行為	出動件数	78	92	△ 14	55	11	3	4	4	－	1
	搬送人員	56	75	△ 19	40	10	2	1	2	－	1
急病	出動件数	7,887	7,421	466	5,812	552	342	466	703	11	1
	搬送人員	7,445	7,027	418	5,470	531	320	442	671	10	1
その他	出動件数	643	818	△ 175	530	29	12	26	46	－	－
	搬送人員	521	682	△ 161	430	22	11	17	41	－	－
合計	出動件数	11,332	10,959	373	8,356	829	468	656	999	19	5
	搬送人員	10,709	10,320	389	7,866	796	438	625	961	19	4
不搬送		748	737	11	579	41	33	43	49	2	1

（△は負数を表す）

1 日 平 均 出 動 件 数 ・・・・・・・・・・ 約 31 件

◆ 救急事故種別

運動競技	131件
労働災害	118件
自損行為	78件
火災	33件
加害	18件
水難事故	8件
自然災害	0件
その他	643件
計	1029件
	11.0%

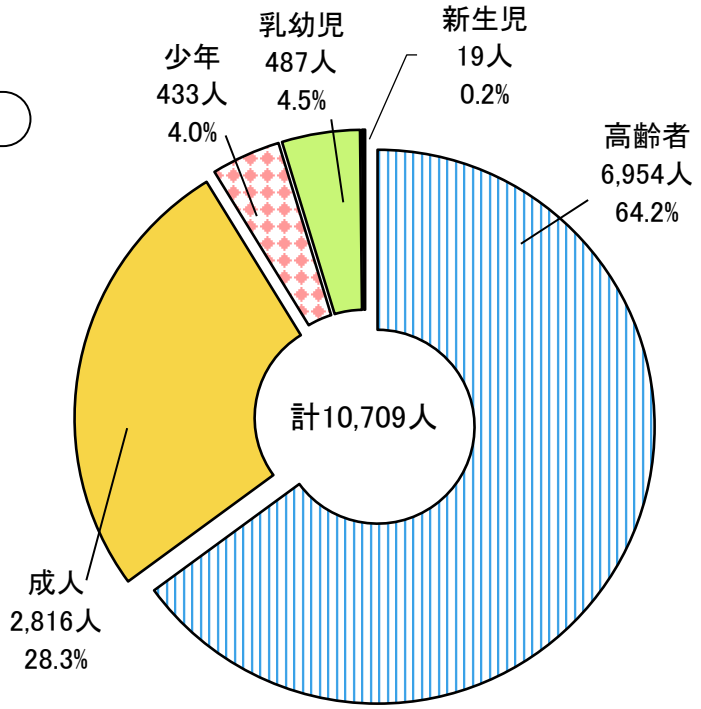


◆ 傷病程度別搬送人員

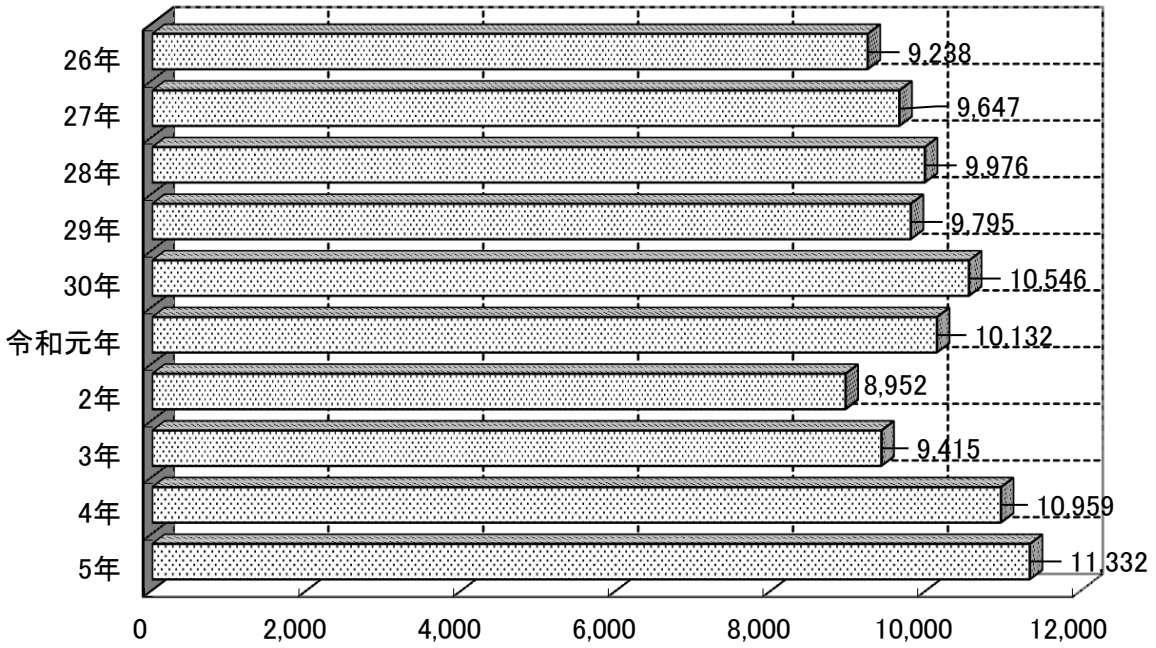
軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計
5,201人	4,474人	1,027人	7人	0人	10,709人
48.56%	41.77%	9.59%	0.06%	0.00%	100%

◆ 年齢別搬送人員

高齢者
（満65歳以上）
成人
（満18歳以上65歳未満）
少年
（満7歳以上18歳未満）
乳幼児
（生後29日以上7歳未満）
新生児
（生後28日以内）



◆ 10年間の救急出動件数



◇ 10年間の平均救急出動件数　9,999件

4 救 助 統 計

種別		区分 件数 人員	令和5年 (A)	令和4年 (B)	増減数 (A)－(B) (C)	令和5年市町別 大垣市	神戸町	輪之内町	安八町	池田町	高速道路	管外
火災	建物	出動件数	1	2	△ 1	0	1	0	0	0	0	0
		救助人員	1	2	△ 1	0	1	0	0	0	0	0
	建物以外	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通事故		出動件数	28	31	△ 3	14	1	4	3	6	0	0
		救助人員	22	20	2	12	1	3	1	5	0	0
水難事故		出動件数	7	4	3	5	1	0	0	0	0	1
		救助人員	5	3	2	3	1	0	0	0	0	1
自然災害事故		出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械による事故		出動件数	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
		救助人員	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
建物等による事故		出動件数	13	10	3	11	1	1	0	0	0	0
		救助人員	12	9	3	10	1	1	0	0	0	0
ガス及び酸欠事故		出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
破裂事故		出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事故		出動件数	9	19	△ 10	8	0	0	0	1	0	0
		救助人員	4	13	△ 9	4	0	0	0	0	0	0
合計		出動件数	59	67	△ 8	39	4	5	3	7	0	1
		救助人員	45	47	△ 2	30	4	4	1	5	0	1

（△は負数を表す）

1 日 平 均 出 動 件 数……約0.16件 （約6日に1件）

5 その他の緊急出動

区分		令和5年 (A)	令和4年 (B)	増減数 (A)－(B)	令和5年市町別 大垣市	神戸町	輪之内町	安八町	池田町	高速道路	管外
警戒・調査活動	危険性物質の流出、漏えい等	43	36	7	30	3	1	5	2	1	1
	焼却行為	67	68	△ 1	39	9	5	6	8	－	－
	通報確認	69	66	3	58	3	－	8	－	－	－
	焼損事故	7	9	△ 2	4	1	－	－	2	－	－
	怪煙	8	19	△ 11	5	3	－	－	－	－	－
	虚報	9	8	1	4	1	－	1	3	－	－
	自然災害	0	0	0	－	－	－	－	－	－	－
	その他	4	10	△ 6	－	2	－	2	－	－	－
支援活動	PA連携	1,356	1,229	127	971	93	61	91	128	10	2
	集団災害	0	0	0	－	－	－	－	－	－	－
	ヘリ支援	1	1	0	－	－	1	－	－	－	－
応援活動		2	3	△ 1	－	－	－	－	－	－	2
その他の活動		0	0	0	－	－	－	－	－	－	－
合計		1,566	1,449	117	1,111	115	68	113	143	11	5

1日平均出動件数・・・・・・・約4.29件 （△は負数を表す）

警戒・調査活動　危険性物質の流出、漏えい等・・・危険性物質（ガソリン等）の流出、漏えい等により出動し、警戒又は調査したもの
焼却行為・・・枯草焼き等の焼却行為に対する通報により出動し調査の結果、火災に該当しないもの
通報確認・・・自動火災報知設備等の発報により出動し、調査の結果誤りであると判明したもの
焼損事故・・・鍋の空焚き等で火災として取扱うに至らないもの
怪　　煙・・・煙の発生により出動し、警戒又は調査したもの
虚　　報・・・救急及び救助以外で出動した結果、その事実の発生がなかったもの
自然災害・・・風水害等により出動し、警戒又は調査したもの
そ の 他・・・上記以外に警戒又は調査したもの
支 援 活 動　PA連携（消防車と救急車が連携して救急活動を行うこと）、集団災害時の支援活動、防災ヘリ等の支援活動したもの
応 援 活 動　管轄以外の近隣市町の災害に出動したもの
その他の活動　上記以外の活動を行ったもの

住宅防火

いのちを守る10のポイント

様々な火災の中でも、特に住宅で発生する火災で多数の死者が出ており、その出火原因はたばこ、ストーブ、こんろ、電気機器など、生活する上で身近にある機器が多くを占めます。

日頃から取り組んでいただく住宅防火対策として、4つの習慣、6つの対策からなる「住宅防火いのちを守る10のポイント」を取りまとめました。

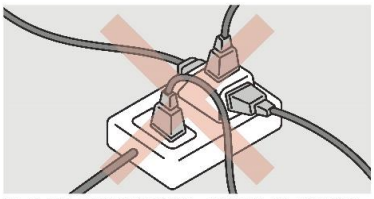
是非、ご家族の皆様で住宅火災からいのちを守るための対策をご確認ください。

4つの習慣

①寝たばこは絶対にしない、させない

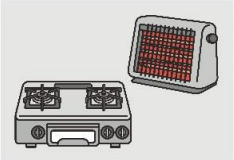
②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

③こんろを使うときは火のそばを離れない



④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

6つの対策



①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する

②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する

③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する

④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく

⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく

⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

出典：総務省消防庁ホームページ
（http://www.fdma.go.jp/）

２０２３年度　全国統一防火標語

火を消して　不安を消して　つなぐ未来

消防情報（テレホンサービス）　**050－5865－1561**